



## 2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(連結)



2024年10月10日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9414 URL https://www.bs11.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 近藤 和行  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 松友 大輔 (TEL) 03 (3518) 1900  
 定時株主総会開催予定日 2024年11月13日 配当支払開始予定日 2024年11月14日  
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月14日  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期の連結業績(2023年9月1日~2024年8月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期	12,241	△1.4	2,083	5.0	2,097	4.1	1,455	5.0
2023年8月期	12,417	1.4	1,983	△17.2	2,015	△15.9	1,386	△13.3

(注) 包括利益 2024年8月期 1,455百万円( 5.0%) 2023年8月期 1,386百万円( △13.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年8月期	81.70	81.61	6.3	8.3	17.0
2023年8月期	77.85	77.74	6.3	8.2	16.0

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 -百万円 2023年8月期 -百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年8月期	25,894	23,598	91.1	1,323.54
2023年8月期	24,756	22,606	91.2	1,267.93

(参考) 自己資本 2024年8月期 23,581百万円 2023年8月期 22,581百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年8月期	2,468	△9,351	△564	6,152
2023年8月期	1,336	△1,435	△757	13,599

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年8月期	-	0.00	-	26.00	26.00	463	33.4	2.1
2024年8月期	-	0.00	-	30.00	30.00	534	36.7	2.3
2025年8月期(予想)	-	0.00	-	30.00	30.00		38.0	

## 3. 2025年8月期の連結業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,906	△0.5	957	3.2	970	4.2	660	2.8	37.04
通期	12,314	0.6	2,004	△3.8	2,032	△3.1	1,407	△3.3	78.97

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

新規 — 社(社名) — 、除外 — 社(社名) —

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年8月期	17,816,932株	2023年8月期	17,809,632株
----------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年8月期	237株	2023年8月期	237株
----------	------	----------	------

③ 期中平均株式数

2024年8月期	17,815,179株	2023年8月期	17,808,312株
----------	-------------	----------	-------------

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料5ページ「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	4
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	4
(4) 今後の見通し .....	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	5
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	13
(継続企業の前提に関する注記) .....	13
(連結キャッシュ・フロー計算書関係) .....	13
(セグメント情報等) .....	13
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する傾向にある中で、各種政策の効果もあって、景気は一部に足踏みが残るものの、緩やかな回復が続くことが期待されます。一方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れや物価上昇等が我が国の景気を下押しするリスクとなっており、引き続き金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、動画配信サービス市場の拡大によるビジネス機会の創出や拡大等、環境が大きく変化しており、テレビメディア広告費は、1兆7,347億円（前年比96.3%）、そのうち当社を含む衛星放送メディア関連の広告費は、1,252億円（前年比100.1%）となりました。（「2023年 日本の広告費」(株)電通調べ）

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで 人々に感動を与え 幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として中長期的な成長を実現するため、重点施策「Value（バリュー）3」を掲げ、引き続き、「コンテンツ価値の最大化」「投資最適化へ向けた意識改革」「放送周辺事業の強化と発展」をテーマに、放送事業に加えて、その他の様々な施策に取り組みました。

#### [レギュラー番組]

2023年10月の番組改編では、『中山秀征の楽しく1万歩！小京都日和』をリニューアルし、『中山秀征の楽しく1万歩！街道びより』の放送をスタート、毎週月曜～金曜のよる9時からお届けしている『報道ライブ インサイドOUT』では、第2・第4金曜日に新キャスターとしてジャーナリストの太田昌克さんを迎え、世界的視点で様々なテーマをお届けすることにより番組の強化を図りました。また、(株)U-NEXTとの協業として、スポーツ情報番組『ワールドスポーツCLIP! Supported by U-NEXT』の共同制作や、ドラマ枠「韓流セレクション Supported by U-NEXT」を新設し人気の韓国ドラマを放送する等、様々な施策を実施いたしました。『ディスカバリー傑作選』では人気コンテンツ『名車再生!』を放送、年末年始には「憧れのスーパーカースペシャル」として特別編成を実施いたしました。

2024年4月の番組改編では、新番組として、音楽番組『若手人気スター歌謡ショー』のほか、「団塊」世代の方をゲストに招くトーク番組『“団塊”物語』の放送を開始いたしました。

ドラマジャンルでは、無料BS初放送の中国時代劇『始皇帝 天下統一』や、アガサ・クリスティ原作の世界的人気ドラマ『名探偵ポワロ』全13シーズンを通年で一挙放送する等、ドラマジャンルの拡充にも努めました。

#### [特別番組]

毎年恒例となっている『生中継! 京都五山送り火2024』等、四季折々の京都の魅力をお届けする特別番組を(株)京都放送と共同制作したほか、オリジナルドラマ『ある日、下北沢で』を東京メトロポリタンテレビジョン(株)と共同で制作し放送、これらの番組は当社オリジナル動画配信サイトBS11+（プラス）で配信いたしました。また、メインMCに笑福亭鶴瓶さん、八木亜希子さんを迎えてお届けした歌謡&トーク番組『鶴瓶のええ歌やなあ』は多くの視聴者からご好評をいただき、2024年10月よりレギュラー番組化いたしました。このほかにも、『生中継 祇園祭 山鉦巡行 前祭・後祭2024』、『生中継 2024 びわ湖大花火大会～いにしへより変はらぬ近江の四季～』、『生中継 ぎふ長良川花火大会 2024』等、日本全国のお祭りや花火大会の模様を生中継でお届けいたしました。

スポーツジャンルでは、2023年の『2023年度 全日本学生柔道体重別選手権』、『JDリーグ2023 ダイヤモンドシリーズ セミファイナル・ファイナル』、『第30回 BFA アジア選手権決勝 日本vsチャイニーズ・タイペイ』に続き、2024年には『2024年度 全日本学生柔道優勝大会』、『JDリーグ中継2024 第1節 デンソーvsビックカメラ高崎』を放送。このほかにも国内屈指の女子ゴルフトーナメント『アース・モンダミンカップ2024』や『ユーロジャパン・カップ2024 セレッソ大阪 vs ボルシア・ドルトムント』、『Jリーグインターナショナルシリーズ2024 powered by docomo 京都サンガF.C. / サンフレッチェ広島 VS VfBシュトゥットガルト』を放送いたしました。

更に、過去最多の全国各地17の放送局とコラボレーションした『桜前線2024全国キャスターリレー!～フォトジェニックな桜スポット～』を放送する等、幅広いジャンルの特別番組の制作・放送に努めました。

**[アニメ関連事業]**

「ANIME+」枠では、製作委員会参画作品を含むアニメ関連番組を毎クール約40タイトル放送しております。年末には、(株)ドワンゴ、(株)文化放送とともに主催した『アニメロサマーライブ2023-AXEL- powered by Anison Days』をテレビ独占放送し、6時間一挙放送の特別編成も行いました。

また、「AnimeJapan 2024」へのブース出展や、(株)とちぎテレビ主催の「とちてれ☆アニメフェスタ!」に協賛し、それぞれ声優を招いてトークイベントを実施したほか、アニメソング番組『Anison Days』ではリアルコンサートイベントとして「Anison Days Festival 2024」を開催いたしました。このほかにも人気の2.5次元俳優が繰り広げるトークバラエティー番組『植田鳥越 口は〇〇のもとTV Season2』では「くちまる 京都～東京 真夏のしゃべくりツアー」と題し、KBSホールと福生市民会館にてトークイベントを3公演実施する等、イベント事業をはじめとした幅広い展開を実施いたしました。

**[配信コンテンツ]**

動画配信サイトBS11+ (プラス) では、アニメ『転生したらスライムだった件』第3期の放送に合わせ、アニメ本編の魅力をお伝えする情報番組『転スラ情報局 BS11支部』を制作しているほか、当社、(株)西日本新聞社及び(株)ADKマーケティング・ソリューションズの3社共同で(株)西日本新聞社が推進する「脳活新聞」プロジェクトを動画コンテンツ化し、『旅は脳活 ゆったり大人旅』を制作、配信を実施いたしました。

チャンネル登録者数が30万人を突破したBS11公式YouTubeでは、2023年日本民間放送連盟賞 番組部門テレビドラマで優秀賞を受賞したBS11開局15周年スペシャルドラマ『恋は50を過ぎてから』の無料配信を期間限定で実施したほか、グループ会社である(株)国土地の児童書を映像化した『歌で聴く絵本「ようかいむら」シリーズ』等も配信する等、幅広い視聴層の方に様々なコンテンツをお届けしております。

また、(株)エフエム東京が手掛けるデジタル音声配信サービス「AuDee (オーディー)」にて、『報道ライブ インサイドOUT』の配信を開始し、当社の番組が音声コンテンツとしてもお届けできるようになりました。今後もBS11+をはじめ、TVer、U-NEXT、FOD、FANYチャンネル、ビデオマーケット等、外部プラットフォームでの配信も充実させ、より多くの方々にBS11のコンテンツを視聴していただけるよう、配信事業の拡大に努めてまいります。

**[その他事業・マルチ展開施策等]**

自社制作番組や配信オリジナルコンテンツの派生イベントの実施、通信販売事業等、放送事業のほかにも様々な施策に取り組んでおります。『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』初となる有観客イベント「太田和彦×松尾貴史 居酒屋を語る!～居酒屋番組の先駆者と酒場好き俳優のトークライブ～」を開催したほか、人気ピアニストと注目のヴォーカル・ユニットによるコンサート「貴公子たちの音楽会」では「Vol. 3 @博物館明治村 特別編」、「Vol. 4～NEW SEASON～」を開催いたしました。これらのコンサート実施後には、テレビ放送やYouTube等で配信を行い、コンテンツをマルチ展開させました。(株)文化放送のインターネットラジオ「超! A&G+」とのコラボ企画『ワールドダイスターRADIO☆わらじ』では、「わらじ presents ワールドダイスター朗読劇☆ワ朗」を開催、会場チケットが完売になる盛況ぶりでした。

更に、新規事業として、(株)産直と協業で全国各地の食品・逸品を販売する通販サイト「BS11SHOP産直通販」を開設いたしました。

今後も放送に加え、配信や新規事業等を通して幅広いニーズに応えることができるよう、努めてまいります。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は 12,241,507千円 (前期比 1.4%減少) となりました。営業利益は 2,083,601千円 (前期比 5.0%増加)、経常利益は 2,097,557千円 (前期比 4.1%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は 1,455,519千円 (前期比 5.0%増加) となりました。

## (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ 1,137,889千円増加し、25,894,429千円（前連結会計年度末比 4.6%増加）となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が 94,591千円、流動資産のその他に含めて表示していた未収消費税が103,112千円と減少したことに加え、固定資産の減価償却が進み、建物及び構築物（純額）が 105,599千円、機械及び装置（純額）が 428,067千円とそれぞれ減少したものの、現金及び預金が 552,550千円、投資有価証券が 1,309,767千円増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ 145,337千円増加し、2,295,522千円（前連結会計年度末比 6.8%増加）となりました。主な要因は、短期借入金が 100,000千円、未払金が 149,463千円減少したものの、買掛金が 96,324千円、未払法人税等が 122,231千円、流動負債のその他に含めて表示している未払消費税が 207,506千円とそれぞれ増加したこと等によるものであります。

当連結会計年度末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ 992,551千円増加し、23,598,906千円（前連結会計年度末比 4.4%増加）となりました。主な要因は、利益剰余金が、前連結会計年度の期末配当 463,044千円により減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益 1,455,519千円の計上に伴い 992,475千円増加したこと等によるものであります。

## (3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における連結ベースの現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ 7,447,449千円減少し、当連結会計年度末には 6,152,467千円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、2,468,837千円（前期は 1,336,351千円の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額 550,458千円があったものの、税金等調整前当期純利益 2,097,557千円の計上等によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、9,351,860千円（前期は 1,435,388千円の使用）となりました。これは主に、定期預金の預入による支出 8,000,000千円、投資有価証券の取得による支出 1,309,428千円等によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、564,426千円（前期は 757,656千円の使用）となりました。これは主に、短期借入金の返済による支出 100,000千円、配当金の支払額 462,843千円等によるものであります。



(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2023年8月期	2024年8月期
自己資本比率 (%)	91.2	91.1
時価ベースの自己資本比率 (%)	64.7	61.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	7.9	0.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	322.0	4,459.1

自己資本比率: 自己資本/総資産

時価ベースの自己資本比率: 株式時価総額/総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率: 有利子負債/キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ: キャッシュ・フロー/利払い

- (注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により算定しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式を除く）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の「営業活動によるキャッシュ・フロー」を利用しております。
4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。
5. 利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の「利息の支払額」を使用しております。

#### (4) 今後の見通し

当連結会計年度における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって景気は緩やかに回復しております。一方、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念等、海外景気の下振れが我が国における景気の下振れリスクとなっており、引き続き金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

次期の見通しにつきましては、このような環境下、良質な番組制作と営業の強化、効果的な広告宣伝に努めることで、テレビ広告収入の増加、配信事業やイベント事業といった放送周辺事業収入の拡大を図ってまいります。一方、費用面では、視聴者の皆様に喜んでいただける魅力的な番組づくりと番組編成を行いながら番組関連費用の効果的な使用とその他の費用の削減に努めることで費用効率を更に高めてまいります。

以上により、2025年8月期の連結業績予想は、売上高123億14百万円（前連結会計年度比0.6%増）、営業利益20億4百万円（同3.8%減）、経常利益20億3千2百万円（同3.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益14億7百万円（同3.3%減）を見込んでおります。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	13,599,917	14,152,467
受取手形及び売掛金	2,325,022	2,230,431
棚卸資産	526,429	528,656
その他	218,399	130,028
流動資産合計	16,669,770	17,041,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,226,406	2,120,807
機械及び装置（純額）	1,286,682	858,614
土地	4,034,756	4,034,756
その他（純額）	82,717	74,390
有形固定資産合計	7,630,563	7,088,569
無形固定資産	75,296	50,933
投資その他の資産		
投資有価証券	104,750	1,414,517
繰延税金資産	188,501	207,058
差入保証金	31,786	27,060
その他	55,870	64,705
投資その他の資産合計	380,908	1,713,341
固定資産合計	8,086,769	8,852,844
資産合計	24,756,539	25,894,429



(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当連結会計年度 (2024年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	696,741	793,066
短期借入金	100,000	—
未払金	469,572	320,109
未払費用	207,663	204,408
未払法人税等	268,817	391,048
賞与引当金	30,000	30,000
その他	245,798	428,345
流動負債合計	2,018,593	2,166,979
固定負債		
退職給付に係る負債	108,789	107,332
その他	22,801	21,211
固定負債合計	131,590	128,543
負債合計	2,150,184	2,295,522
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,186,990	4,190,714
資本剰余金	3,520,780	3,524,504
利益剰余金	14,873,521	15,865,996
自己株式	△234	△234
株主資本合計	22,581,057	23,580,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	—	69
その他の包括利益累計額合計	—	69
新株予約権	25,297	17,856
純資産合計	22,606,354	23,598,906
負債純資産合計	24,756,539	25,894,429

## (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

## 連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	12,417,299	12,241,507
売上原価	6,485,666	6,469,166
売上総利益	5,931,633	5,772,340
販売費及び一般管理費	3,948,148	3,688,739
営業利益	1,983,485	2,083,601
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,177	6,005
受取出向料	—	1,200
寄付金収入	32,382	—
その他	2,420	7,380
営業外収益合計	35,980	14,586
営業外費用		
支払利息	4,150	553
その他	192	76
営業外費用合計	4,342	630
経常利益	2,015,123	2,097,557
税金等調整前当期純利益	2,015,123	2,097,557
法人税、住民税及び事業税	629,987	660,624
法人税等調整額	△1,193	△18,587
法人税等合計	628,794	642,037
当期純利益	1,386,329	1,455,519
非支配株主に帰属する当期純利益	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	1,386,329	1,455,519

## 連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
当期純利益	1,386,329	1,455,519
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	—	69
その他の包括利益合計	—	69
包括利益	1,386,329	1,455,588
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,386,329	1,455,588
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,183,936	3,517,726	13,843,269	△143	21,544,789
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	3,053	3,053			6,107
剰余金の配当			△356,077		△356,077
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,386,329		1,386,329
自己株式の取得				△91	△91
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	3,053	3,053	1,030,251	△91	1,036,267
当期末残高	4,186,990	3,520,780	14,873,521	△234	22,581,057

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	—	—	24,466	21,569,255
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)				6,107
剰余金の配当				△356,077
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,386,329
自己株式の取得				△91
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	831	831
当期変動額合計	—	—	831	1,037,099
当期末残高	—	—	25,297	22,606,354

当連結会計年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	4,186,990	3,520,780	14,873,521	△234	22,581,057
当期変動額					
新株の発行 (新株予約権の行使)	3,724	3,724			7,448
剰余金の配当			△463,044		△463,044
親会社株主に帰属する 当期純利益			1,455,519		1,455,519
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	3,724	3,724	992,475	—	999,923
当期末残高	4,190,714	3,524,504	15,865,996	△234	23,580,980

	その他の包括利益累計額		新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	—	—	25,297	22,606,354
当期変動額				
新株の発行 (新株予約権の行使)				7,448
剰余金の配当				△463,044
親会社株主に帰属する 当期純利益				1,455,519
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	69	69	△7,440	△7,371
当期変動額合計	69	69	△7,440	992,551
当期末残高	69	69	17,856	23,598,906

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,015,123	2,097,557
減価償却費	509,295	606,035
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	9,782	△1,457
受取利息及び受取配当金	△1,177	△6,005
支払利息	4,150	553
売上債権の増減額 (△は増加)	△250,563	94,591
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△96,079	△2,227
仕入債務の増減額 (△は減少)	71,191	96,324
未払金の増減額 (△は減少)	45,580	△153,693
未払費用の増減額 (△は減少)	△66,992	△3,255
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△89,142	207,506
寄付金収入	△32,382	—
その他	△76,920	78,993
小計	2,041,866	3,014,924
利息及び配当金の受取額	1,177	4,925
利息の支払額	△4,150	△553
寄付金の受取額	32,382	—
法人税等の支払額	△734,924	△550,458
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,336,351	2,468,837
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△8,000,000
有形固定資産の取得による支出	△1,403,122	△32,761
無形固定資産の取得による支出	△19,557	△9,344
投資有価証券の取得による支出	—	△1,309,428
保険積立金の解約による収入	984	8,948
その他	△13,692	△9,274
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,435,388	△9,351,860
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	120,000	—
短期借入金の返済による支出	△520,000	△100,000
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,590	△1,590
配当金の支払額	△355,978	△462,843
その他	△87	7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△757,656	△564,426
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△856,693	△7,447,449
現金及び現金同等物の期首残高	14,456,611	13,599,917
現金及び現金同等物の期末残高	※ 13,599,917	※ 6,152,467

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
現金及び預金	13,599,917千円	14,152,467千円
預入期間が3か月を超える定期預金	—千円	△8,000,000千円
現金及び現金同等物	13,599,917千円	6,152,467千円

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループには、BSデジタル放送事業以外の重要なセグメントがないため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	1,267円93銭	1,323円54銭
1株当たり当期純利益	77円85銭	81円70銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	77円74銭	81円61銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当連結会計年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
(1) 1株当たり当期純利益	77円85銭	81円70銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,386,329	1,455,519
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,386,329	1,455,519
普通株式の期中平均株式数(株)	17,808,312	17,815,179
(2) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益	77円74銭	81円61銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	24,020	19,095
(うち新株予約権(株))	(24,020)	(19,095)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。